



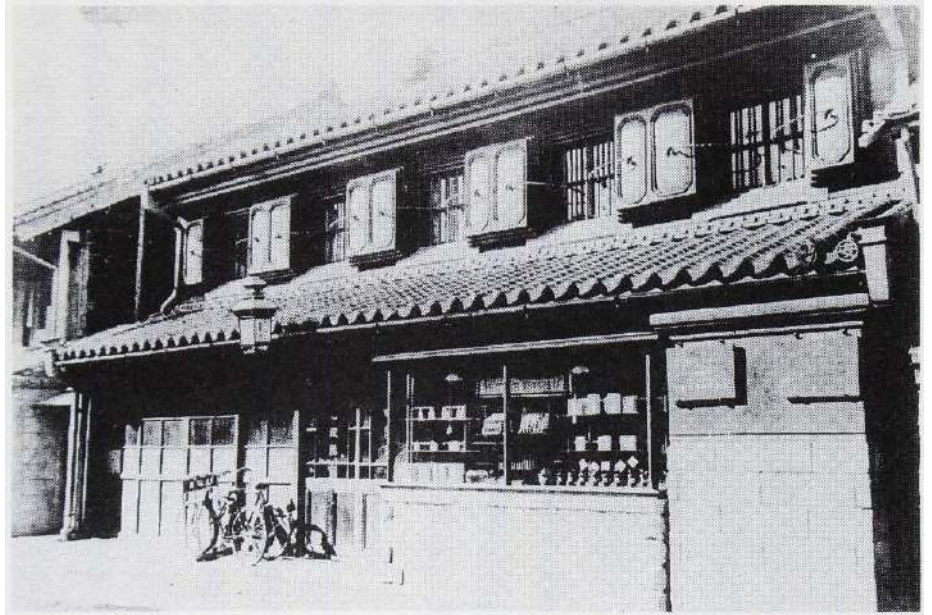
向陵広場

発行号 第12号
 発行日 平成 29 年4月 13 日(木)
 発行元 向陵編集校友会
 責任者 伊藤有司 (県 10 回卒)

遠藤安太郎氏の胸像 私立豊橋商業学校創立者



遠藤家より寄贈(平成9年2月28日)



上伝馬町 遠藤邸(昭和 20 年6月 19 日の豊橋空襲で焼失)

現在 松井食器(有)の店舗

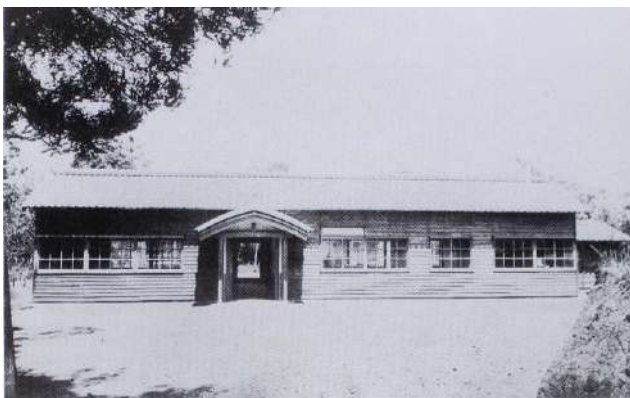
遠藤安太郎氏の生涯 (1868~1913) 享年45

安太郎は明治元年 10 月 21 日渥美郡西豊田村(現小向町)に桃作の子として生まれたが、叔父晏平に子なき為、その養子となる。皮肉なことに安太郎が養子に入ると、長三郎、吉兵衛、はまの弟妹が生まれた。安太郎は父晏平が明治 22 年 58 才で没すると、父の後をつぎ豊橋郵便局長となる。28 年東三郵便局長協議会長になる。28 才にして東三地区の局長会をとりまとめる職にあったので指導者としての素質があったのであろうか。

商業学校設立の経緯は、明治 34 年1月の商議所(当時は商工会議所という名称ではなかった)の会議録によれば、遠藤は同年二月、十一月、36 年十二月にも、この議案を提出するも採択されず、また自分の属する実業談話会を通じても郡、豊橋町(町長大口喜六)に度々請願するも採択の機に至らなかったで遂に私費を以って建設する事に意を決し、明治 39 年四月渥美郡豊岡町(現瓦町)不動院東に私立豊橋商業学校を建設した。(豊商の群像 I より抜粋)



明治 39 年4月、竣工した校舎(現豊橋瓦町)



創立の頃の瓦町校舎(現不動院東)



私立商業学校
第一回卒業式
記念、教員、
及び卒業生